

報道機関各位

問い合わせ:社会教育課 文化財係

担 当 者:猿渡・瓜生・藤本

連 絡 先:0944-32-9183

寶満神社奉納能楽 上演

～300年を超えて引き継ぐ伝統「新開能」～

みやま市高田町新開地区で伝承されている新開能は、公式には「ほうまんじんじゃほうのう寶満神社奉納

のうがく能楽」といい、北新開・南新開地区の人々により継承されています。

舞に使用される衣裳・能面・用具は、昭和 23 年に柳川の立花家から譲りうけたもので、奉納能とともに昭和51年に県指定無形民俗文化財に指定されました。

現在は、毎年10月第3土曜日に新開能狂言保存会により奉納上演されています。

また、子どもたちによるお謡三番も継承育成を兼ねて引き続き行われます。

■日 時 令和7年10月18日(土) 13:00上演開始～17:00終了予定

■場 所 まいピア高田ホール能舞台(みやま市高田町濃施 14)

※ 今年から天候に関係なく、まいピア高田ホール能舞台にて行われることとなりました。

※**新開能** (昭和51年4月24日 県無形民俗文化財指定)

寶満神社での奉納能楽は享保元(1716)年に柳川藩主立花鑑任(あきたか)が祈願成就のため、寶満神社で、能楽師による能楽を奉納したことが始まりといわれます。

明治35年頃から神社氏子たちにより奉納されるようになり、その後、新開地区の人々によって現在も受け継がれています。能楽師・狂言師ではなく地元の人が能・狂言を上演するというのが大きな特色で、高く評価されています。



■番組 お謡^{うたい}三番(小学生) 13:00～(10 分程度)

(高砂^{たかさご}・弓八幡^{ゆみやわた}・養老^{ようろう})

柿山伏^{かきやまぶし}(狂言) 13:15～(20 分程度)

嵐山^{あらしやま}(能) 13:40～(1 時間程度)

八島^{やしま}(半能) 14:45～(30 分程度)

三本の柱^{さんぼん はしら}(狂言) 15:20～(30 分程度)

紅葉狩^{もみじがり}(能) 15:55～(70 分程度)

※時間はあくまでも予定です

■アクセス 西鉄開駅から徒歩 10 分、JR 渡瀬駅から徒歩10分
駐車場は、まいピア高田駐車場をご利用ください。

